

2003
2

■編集 西区役所総務企画課広聴係
〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~226
FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」
FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



「技術は興味を持って学べば誰でも身に付きますが、経験は、長い年月をかけて多くのバイオリンに接することでしか得ることはできません」。鈴木さんは東京生まれの東京育ち。子どものころから習っていたバイオリンを自分の手で作ろうと、高校卒業後、バイオリン製作で日本の第一人者である無量塔蔵六氏に師事して技術を学び、東京でバイオリンの販売・修理の会社に就職しました。この会社勤め時代に、多くのバイオリンに接することができたと言いま



まちの人

バイオリンの魅力をもっと多くの人に知ってほしい。

「東京に比べると北海道全体でも、バイオリン人口は少ないですね。バイオリンがもっと身近な楽器になってほしい」と話す鈴木さん。「現在、世界最古のバイオリンは三百年前に作られたものです。その後、何度も遊びに来た北海道で店を開きたいと、五年前、札幌に移り住み、西区でバイオリンの工房を開きました。現在、バイオリンの製作・修理を手掛ける傍ら、自身でも「西区オーケストラ」に参加して、自作のバイオリンで演奏を楽しんでいます。

道内を拠点に活躍するバイオリン製作家

すずき さとし
鈴木 聡さん (37)

プロフィール：「鈴木聡ヴァイオリン工房」（山の手3条4丁目TEL611-0960）代表。バイオリンの製作のほか、修理・調整を行っている。日本弦楽器製作者協会正会員。山の手在住。



▲部品をその楽器に合うように加工していく

自分の作ったバイオリンが音を奏で、大切に使われ続ける、それがバイオリン作りの魅力。古いバイオリンでしか出せない音もあるんですよ」と語ります。

一年間に一、二本しか製作されない鈴木さんのバイオリンは、これからも人から人へ受け継がれ、未永く、美しい音色を響かせていくことでしょう。